

Communication

2018/07
Vol.24

中特グループ社内報：コミュニケーション

特集


中特職人名鑑



中国特殊(株)
エコ事業部
eグリーングループ
内山大輔リーダー

フォトアルバム 四国研修旅行 2018

TOPICS yab 山口朝日放送「山口の底力」テレビ取材の裏側
サステナビリティを考えよう!
お客様紹介 ファイル1 食彩 街の灯

 中特グループ

はなぐり海岸奮闘記（仲間とともに）

（株）リライフ取締役専務 吉谷 浩

6月2日（土）下松市笠戸島「はなぐり」海岸海水浴場の清掃ボランティアに参加した。海水浴場の清

掃は下松市に工場を置く（株）リライフの主要なボランティア活動の一つ。今年で数えて7回目、中特グループにとって夏の重要な二



大イベントである。

朝8時00分に「はなぐり」海岸駐車場に到着。

すでに数人の（株）リライフ社員が準備に取りかかっている。8時30分、中特グループ社員約50名が集合。（株）リライフ江村事業部長の明るすぎる号令下（拡声器は不要、声がかい！）、一斉に作業開始。

数台の草刈機部隊がエンジン音を轟かせながら、次々に管理棟周辺の生い茂った草木をなぎ倒す（けっこう重労働）。4グループに分かれた清掃部隊が砂浜、散歩道、連絡通路のごみを拾う（選別

も兼ねての地道な作業、根気が必要。集められた草木、ごみ類をフレコンに入れる。重機部隊がフレコンをクレーン車で吊り上げ、駐車場に待機する回収車に次々と積み込んでいく。

一連の作業は20分の休憩をはきみ11時30分に完了。ピフォア、アフター、景色は様変わりした。

一汗かいて、みんなで弁当を食べる。美味い！梅雨時にもかかわらずこの日は快晴、目の前の海は穏やかで碧く、島の緑は鮮やか。まさに「This is Kasadojimai This is Setonaikai」は国定公園の一部でもあることをしみじみ実感（下松に生まれてよかった）。

今回もまた皆の手際の良さと完璧なチームワークに驚かされた。一事が万事、中特グループにとっては当たり前的事なのかも知れない。頼



もしく、心強い仲間たちだ。

家族は今横浜、たまに2人の孫たちが「おじいちゃんは何をしているの」と思い出したように聞くと、う（存在感が薄い！）。夏休みになったら、はなぐり海岸に孫たちを連れて来て、「ここはお前たちのためにおじいちゃんと仲間たちがきれいにしたんだ、えらいだろ」と自慢しよう。元気が出てきた、来年もまた来よう！

いつも家族に自慢できるも催し事をいっぱい企画してくれる中特グループの仲間たちに感謝しています。ありがとうございます。

先輩から後輩への技術の継承と 若手社員の新しい発想との化学変化

現在、中特グループでは50年以上に亘って培ってきた技術を継承しつつ、ITの導入や固定観念を打破する発想が求められています。業務を拡大する一方で、人手不足が叫ばれ人員補充をしようとしても採用が思うようにいかないのが現状です。そんな中、今ある業務を円滑に進め、尚かつより高いクオリティにするため、必要な技術をOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）を通して、先輩社員は悩みながら、工夫しながら後輩社員に伝えていく日々だと思います。

今社内にいる若手社員とは、育った環境も価値観も違うなど、様々なギャップに苦労しているかもしれません。しかし、よくよく考えるとこれらは私達が若い頃先輩に「俺の若い頃はああだった、こうだった」と言われる度に、「そうは言っても時代が変わったしなあ」などと思っていたの

と、そこまで変わらないのではないのでしょうか。

とは言え、今後増えてくるミレニアル世代の社員を受け入れ、彼等の新しい価値観や発想力を大切にしながら、日々変化する社会に対応できる強い組織になっていかなければなりません。

まさに「時代の風向きに敏感に反応し、いかなる時代が来ようとも存続する」です。

今号はそんな中特グループの中で、今後後輩に技術を伝えていく立場にある先輩社員である「職人」について特集していきたいと思います。

※インターネットが普及した環境で育った最初の世代で情報リテラシーに優れ、自己中心的ではあるが、他社の多様な価値観を受け入れ、仲間とのつながりを大切にしている傾向がある世代

上 今日はよろしくお願ひします。ところで稔朗さん入社何年目ですか？

井 33年目です。長いなー！

上 そうですね大先輩ですね。ところで前職は何をなさっていたのですか？

井 水道工事の仕事をしていました。上 どうして中特グループに就職しようと思ったのですか？


井 僕が就職したのは中特工事の時代なんですけど、前職と同業だったので、良いかなと思ってね。

上 中特工事からなんですネゴイですね。この度職人名鑑で特集をするとなつて、山根部長にどなたにしたらよいか相談していたところ、山根部長を始め複数の方から推薦を頂きまして、稔朗さんの不用品回収時の積込技術について取材させて頂くことになりました。

井 いや、嬉しいけど僕なんかで良

職人ファイル

(株)吉本興業
ポータルハートサービス事業部
第一業務グループ
井上 稔朗リーダー



上 いのかな。

上 謙遜なさらずに。皆さんの推薦がありますからね。堂々と答えて頂ければと思います！

井 そうですか、じゃあどうぞ聞いてください。

上 ありがとうございます。この不用品回収やお片付けの時のコツってどういったものがあるのでしょうか？

井 家具が2つ3つの時は大したことないですが、アームローダー車2車、3車になるといかに効率よく積むかが重要になるんですよ。まずはどういう順で運び出すか、どう積むか、そして会社に戻ってどう下ろして分別作業の効率まで考えます。

上 そんなに考えていらっしゃるのですね。私は皆さんが「積込がすごい」と伺っていたのでパズル名人なのかと…。

井 パズルは下手ですよ。

上 そうなんですネ。先ほど言わ



みんなでパズルの様に積み込み中

れた、「運び出し」、「積込み」、「荷下ろし」、分別それぞれのコツや仕事の難しさについて教えてください。

井 良いですよ。まず運び出しですが、動線を確保していかないといけないので、基本的には入り口周辺から運び出しを計算します。また積込場所までの運搬は2人で階段を使用しての運び出しがある場合は、背が高い人が下になるように計画します。そうすることで家具を斜めにした時に家具がより水平状態に近づくので、下側になる人の負担が減ります。また車に積み込みをする際に棚は壁側を外向きにすること、内側の空間に袋物や、小物を入れ込みます。またどうしても家

具とコンテナの間に隙間ができるのですが、ここに板状の廃棄物を挟んでいくとスペースが有効利用できるんです。また割れ物なんかは危ないから最後にケースに入れて積み込みます。

上 細かいところまで工夫があるのですね。荷下ろし、分別はどうですか？

井 会社の作業スペースが狭いので車両毎におろした後の分別種類ごとの特性を持たせます。木製の家具が多いのはこちらの車両、金属や家電が多いのはこちらの車両といった風にね。


上 そこまで沢山の条件を加味して、積込をしているのですから、やっぱり職人技ですね！今後後輩に技術を継承しているところでしょうか、苦労されていることはありますか？

井 現場ごとに条件が違うので、その現場毎のOJTになっているのが現状ですが、風呂釜等の取り外しなどは、教えても慣れるまで何回もやつてもらわないといけないので苦労しています。

上 稔朗さんからみたら皆さん後輩ですものね。ありがとうございしました。

2 職人 ファイル

中国特殊
工コ事業部
HOSグループ 管理チーム
中村 勝也さん



上 入社何年目ですか？

中 13年目です。僕ももう長いんですよ。

上 前職は何をなさっていたのですか？

中 防府のマツダの車組み立て工場で働いていました。

上 どうして中特グループに就職しようと思ったのですか？

中 未経験の仕事ですが、今まで工場の中で組み立ての仕事だったので、外に出ていく仕事がしてみたくかったです。

上 それはまさに外に出て回る仕事で希望とびつたりでしたね。今回は村田リーダーに中村さんの詰まり解消技術が素晴らしいと推薦して頂きました。全く未経験からの技術習得だったと思うのですが、どのように習得されましたか？

中 先輩のやるのを横で見たり、試行錯誤で段々できるようになりました。

上 そうなんですね。それは苦労

しながら身に付けられたんですね。詰まり解消と言えば、具体的にどういったところが詰まるのですか？

中 多いのは台所の排水とトイレの詰まりが多いです。

上 そうなんですね。飲食店の排水詰まりなどは営業に関わるのでたいへんお困りですよ。ちなみに詰まりを解消するコツって何ですか？

中 まずは原因を特定すること、これに限ります。例えば地中配管に根が入って流れを阻害したり、硬いもの例えばボールペンなどがひっかかかっていたりします。それをカメラを使って目視して的確な対応をとることが重要です。管が破れて修理が必要だったりすることもありますがね。とにかく手早くキレイな対応を心がけています。基本的にはお客様に立ち会って頂きますので、少しでもお手間を減らしたいですものね。

上 そうですね。きつとお客様も喜

んで下さいます。今は先輩にその技術を伝えていくことと思いが、どの様に教えていますか？

中 OJTでほとんど伝えていきます。特に先輩の教える人が優秀なので、僕の作業を見ながら学んでくれるので助かっています。


上 そうなんです。ちなみに技術を教える上で何が一番気を付けていますか？

中 詰まり解消には高圧洗浄の際、機械を使うことがあるのですが、これをすると思わぬところで圧力が抜けて、噴き出してしまうので、汚してしまわない様に細心の注意を払っています。

上 そうですよ。家とか汚れてしまふと大ごとですもんね。中村さん色々貴重なお話ありがとうございます。今後その職人技術に磨きをかけてください。

中 がんばります。ありがとうございます。うございまして。






3
職人
ファイル

(株)リライフ
リサイクル事業部
再資源化グループ

嘉代 奏啓さん



上 入社何年目ですか？

嘉 6年目です。もうそんなに経つたのか！

上 前職は何をなさっていたのですか？

嘉 食品工場で、カップ麺の天ぶらを作っていました。仕事を探していた時に汚水処理とか脱水処理を以前やったことがあるので馴染みやすいかと思って入社しました。

上 今回は廣瀬リーダーに嘉代さんのバックホーの運転技術を推薦して頂いています。この仕事についての技術習得だったと思うのですが、どのように習得されましたか？

嘉 入社後1年かけて重機の資格を取りながら他の現場作業をしていました。重機の資格を取ってからバックホー操作の業務をさせてもらうようになると楽しくって仕方なくなり、休憩もとらずに仕事しうとして、先輩方に止められたりしていました。最初の頃は100tの汚

泥の攪拌に3時間かかっていたのが、今では1時間切るくらいで混ぜています。篩分・混合機械のホッパーに汚泥を積み込む時間も半減したかな。

上 重機の操作はどこで差がつくのですか？

嘉 バックホーの操作はすくって、アームを持ち上げて、旋回して、落とす作業ですが、慣れてくると、持ち上げるのと旋回がほぼ同時にできるようになります。あとは経験で、すくった汚泥の重さがある程度の誤差内で分かるようになるんです。そうすると、ダンプに汚泥を10t積む時のスピードが各段に上がります。

上 技術を習得する上で、また業務をする上で何が大変でしたか？

嘉 じつは私は高所恐怖症なんです。私の担当セクションはバックホーの操縦席を上昇させてそこで操作するのですが、結構揺れて怖いんです。今では慣れましたが。

先輩からのメッセージ



富塚 光世さん

カッシーの改質のセクションの運転はピカ一やね。バックホーも投入やらせたらスピードナンバーワン！あと少し丁寧さが欲しいとこだから80点！言うても私は40点やけどアハハハ。

(株)リライフ リサイクル事業部
再資源化グループ

上 今後先輩に技術を伝えていかないといけないと思うのですが、どんな工夫や悩みがありますか？

嘉 じつはこの前まで教えていた先輩は感覚型というか見て盗むタイプで、特に教えるのに困ることもなく伝えていたのですが、この度担当が代わって、タイプが変わったので、改めて教える苦労をしています。

上 ありがとうございます。

汚水処理のプロ集団として50年

中国特殊(株) エコ事業部 取締役事業部長 川本 文吾

私たち中国特殊(株)エコ事業部は、昭和41年の創業から約半世紀に亘り汚水処理に携わって参りました。し尿収集からはじまり、浄化槽維持管理、下水道維持管理・宅内の排水管に至るまで生活に欠かせないインフラを守っています。

タン)等の増加に伴う地球の温暖化がもたらす影響は計り知れず、降雨量や最高気温などは、幾度となく気象観測記録が更新されているのを皆さん耳にされたのではないのでしょうか。

昭和20年代から旧徳山市では、下水道事業が着手され昭和41年には徳山中央浄化センター(中央処理区)が供用開始され以後次々と下水道が整備されてきました。そのため、河川の水質は向上し日本の高度成長期に散見されたドブ川は無くなりました。

異常気象による豪雨災害や、地震による災害では各機関より要請を受け対応させて頂くことがあります。私が初めて災害復旧で経験したのは阪神淡路大震災でした。自然の猛威と怖さをひしひしと感じた瞬間でした。その後、東日本大震災や熊本地震、県内では平成21年7月の中国・九州北部豪雨でお手伝いをさせて頂きました。予測も予想もできない自然災害による惨状を目の前には、何もできない無力さを感じました。



ては、地球環境の破壊が大きく影響しているのではと感じます。森林伐採、温室効果ガス(CO2・フロン・メ

私たちにできることは、小さなことかもしれませんが、命の源である水資源を、私たちの生活で使用し汚れた水を、また綺麗な水資源に「還元」する重要な一躍を担っているという自覚を胸に、日々自己研鑽を行って参ります。全ては次世代のために！

サステナビリティを考えよう!

株式会社吉本興業 代表取締役 吉本 妙子

今号より社内報がリニューアルされ、今までの「3R3R」より一歩進んだ、中特グループとしての「サステナビリティ」について考えていきたいと思ひます。

「サステナビリティ」とは、「持続可能性」という意味があります。持続可能な社会を創るために私たちに何が出来るのでしょうか？

今までにも何度か「SDG s」(=持続可能な開発目標)について触れて来ましたが、実はこの「SDG s」については一般的にもまだ認知度が非常に低く14.8%に留まっています。しかし、意味をしっかりと理解した後では「共感性」は70%との結果も出ており、具体的にどの様なアクションをとりたいかとの問いに対し、シニア層では「SDG sに取り組んでいる企業の製品を買う」若い層であれば「ボランティアをしたい」などの回答がありました。(電通の意識調査より)

私たち中特グループが取り組んでいる代表的な例として、

㈱)ライフでの廃棄物処理における処理水の再利用があります。本来、海へ放流されるはずの水をパイプラインで海底を通し再利用する。リサイクルする為に大切な資源である地下水を大量に使ってしまったのは本末転倒です。これは、SDG sの17の目標のうちの【6】安全な水とトイレを世界中に【9】産業と技術革新の基盤をつくろう【12】つくる責任つかう責任【14】海の豊かさを守ろうに該当します。他にも私たちの取り組みをぜひこの【17の目標】に照らし合わせてみて下さい。更にSDG sが身近なものになって来るはずですよ。

温暖化による気候変動や少子高齢化など、現代社会を取り巻く様々な課題を私たちの仕事や活動を通じて解決する事が、中特グループのサステナビリティの考え方です。

今後、私たちに何が出来るのか改めて皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。





皆さんお楽しみ様です。企画広報室の上原です。先日 yab の J チャンネル内にて 4 月より始まった「山口の底力」というコーナーで山口県を代表する企業を紹介する番組で中特グループが紹介されたのですが、みなさん見て頂けたでしょうか？今回はテレビ放送の取材の裏側を紹介させていただきます。



4月17日 席を離れて戻ってくる。と総務管理部の河村さんのメモがPCに貼ってありました。「yabの記者さんが中特グループを「山口の底力」という番組で紹介したいそうです。」と貼ってありました。早速お電話してみると、今月から販売した「黒糖のど飴」の記事をどこかで読まれたらしく弊社に興味を持っていただいた様子でした。記者Sさんは、はつらつとした女性の方でした。

4月19日 数日間電話でやり取りをした結果、弊社を取材するという記者のSさんの企画がyabに採用された。中特グループのサービスは多岐に亘る



ので、どこを切り取って伝えるのもらうかお互いに確認をした。ことダチョウに関しては大変興味をもたれている様子だったが、私たちにはまだ他にもたぐさんの特徴があるので、その辺りもぜひ取材して欲しい旨をお話した。

4月26日 いよいよ取材当日。なんと話が始まって、9日間！今回出演頂く橋本CEOや関係部署との調整をして取材に臨みました。実は、その数日前にもNHKさんからの取材依頼がありました。取材当日になって他の重大事件が発生した影響で、急きょキャンセルになったのです。報道というものは大きなニュースがあれば、否応なしに取材先が変わるものなのです。

まず始めはリライブでダチョウと山本リーダーの取材、そ



の次には本社にて橋本CEOの取材となりました。取材クルーは記者のSさん、カメラマン、音声さんの3人です。またこの番組は朝日新聞との連動企画で、朝日新聞の記者さんも帯同されました。取材はどんどん進みます。

その場で「こんなシーンを撮りたい」「〇〇を説明している画をください」と言う感じにいろいろなカットを撮られます。

橋本CEOのインタビューですが、珍しくCEOも緊張している様子。後程伺ったら「そんなに近くにカメラがあつたら誰でも緊張するでしょう。」とのこと。（そりやそうですよね）そのあと黒糖のど飴や、会社の外観を撮っておしまいでした。そして5月1日には無事に放映の運びとなりました。

そんなこんなで黒糖のど飴の

影響もあり、弊社グループは約1ヶ月でyab「山口の底力」、TYSニュース、KRY、周南シテイケーブル、周南FM、中国新聞、山口新聞、新周南、山口経済レポート、防長経済、Yジャーナル、周南経済新聞と沢山のメディアに取り上げて頂きました。感謝！また最近ではシンガポールから取材依頼（英語で）があつたりと、大注目を集めました。後日談でテレビ朝日の全国ネットの「ソノサキ」で取材したいと問い合わせまで頂きました。これはダチョウネタばかりになってしまいそうで断りました。

今後も中特グループのPRを精力的に行つて参ります。そして、皆さんのご家族やそのお友達や知人の方に、皆さんの活躍している姿をもっともお届け出来る様にしていきます。

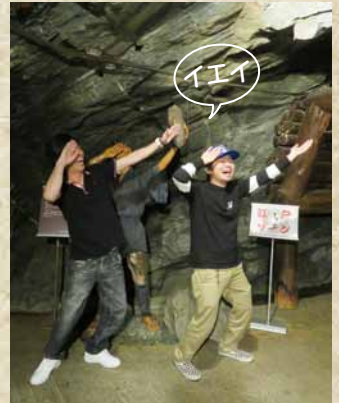
5月1日 yabの
「山口の底力」に取材されるまで



宿泊は道後温泉！
 中特グループの宴会は
 いつもパワフル！
 1班、2班で別の日に
 別のメンバーなのに
 どちらも同じくらい
 盛り上がりました。
 あたかも同じ日に
 同じ場所にいる様な
 光景です。
 最後は定番の
 「YMCA」で締め！



道後温泉 坊ちゃん湯



東洋のマチュピチュと言われる 別子銅山



1班で先輩に写真を撮ら
 せる内山(兄)まさか
 とは思いましたが、同じ場
 所で2班の内山(弟)も…。



1班



- 撮影協力：
- 1班：池田 光憲さん、中村 幸二さん、藤井 一成さん
- 2班：坂本 明日香さん、相本 百合子さん、石井 貴大さん、内山 貴文さん、峰岡 祐樹さん、岩井 勝己さん

フォトアルバム 四国研修旅行 2018



伊東さんと藤田さんと嘉代さんが壊してしまった壺を一生懸命直しているところ。
(本当はパズルを解いているところです)



しまなみ海道を通過して村上水軍の博物館を見学



1班



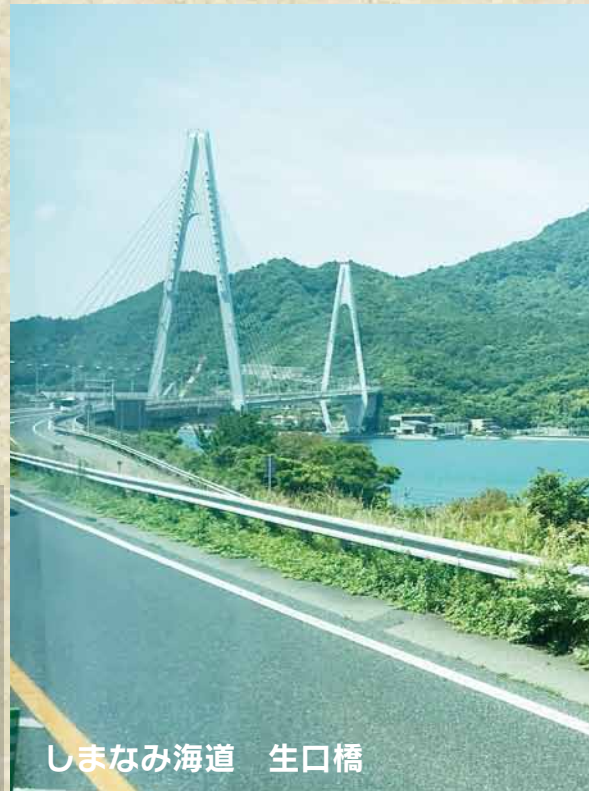
2班



お昼は海鮮BBQ!



今回の企業見学はオオノ開発様さんでした。広大な敷地内の施設をバスに乗ったまま見学しました。解体から始まったのですね。



しまなみ海道 生口橋



2班



岩崎先生のダンスレッスン ワンツー ワンツー

シャネルズ
『街角トワイライト』
平成生まれは知らない...



『廃棄物法令レポート』

今回のテーマは「中特職人名鑑」とのことですので、本稿もそれにちなんだお話しにします。

中特グループの基幹事業は廃棄物処理や下水道の維持管理です。油断をすると大怪我に直結する危険があることは皆様がよくご存知のとおりです。そのため、ベテランの方になると、安全管理に関して「やってはいけないこと」や「やらなくてはいけないこと」について、非常に高度な職人的知見をお持ちのことと思います。

既にご存じのとおり、中特グループの基幹事業は廃棄物処理や下水道の維持管理です。油断をすると大怪我に直結する危険があることは皆様がよくご存知のとおりです。そのため、ベテランの方になると、安全管理に関して「やってはいけないこと」や「やらなくてはいけないこと」について、非常に高度な職人的知見をお持ちのことと思います。



行政書士エース環境法務事務所代表
行政書士 尾上雅典先生

中特グループ法務顧問。許認可申請の代行といった単なる行政書士業務に止まらず、廃棄物処理企業の経営基盤確立のため、従業員教育、法務相談など、廃棄物処理企業に特化したサービスを提供されている。

その他、業界誌への寄稿、排出事業者向けのセミナー・講演、廃棄物管理状況の監査など、廃棄物処理企業以外に関係者にも廃棄物の適切な処理を進めていただくべく、精力的に啓発・教育活動も展開中。

お客さまの声

周南市在住 T様

先日指輪を洗濯機から風呂の排水溝に流してしまったので、排水管を探して欲しいと中国特殊に依頼したところ、中村さんと藤井さんに来て頂いて風呂の排水口から家のものが知らなかった土に埋まったマスや、草木の根が張って塞がれていたマスを掘り出して、中に溜まっていた大量のゴミを掃除しながら、本当に丁寧に指輪を探してくださいました。

当日、指輪を見つけることは出来なかったのですが、詰まる寸前までゴミの溜まっていた排水管の状態と、お二人の満遍ない作業に、指輪が排水口まで流れていないことを確信し、洗濯機を分解したところ、探していた指輪が見つかりました。

お二人の徹底した作業と熱心で親身なご対応でなければ、指輪は流れてしまったのだと諦めておりました。また排水管も掃除していなければ近いうちに逆流していたと思います。

本当に心より感謝申し上げます。また何かあった際には是非ともよろしくお願ひ致します。(原文のまま)
総務受付

愛媛県在住 T様

県外在住のため何の情報もなく不安な状態でした。周南市役所で教えて頂いた数社の中に吉本興業さんがありました。お願いするきっかけとなったのは、電話の対応と担当者の方の親身さでした。もちろん価格もありましたけど(笑)

県外からで不安なことがいっぱいでしたが、最後まで親身になって対応して下さいました。お会いできて本当に「感謝」です。ありがとうございました。

(原文のまま)

周南市に一人暮らしをされているお母様が、老人ホームへ入居するため残った物の片付けを愛媛在住の娘さん一人で行っていました。お問い合わせの電話対応だけで、とても困っている様子が伺えたため、「ポータルハートサービスにご連絡頂いた時点でもう何もご心配はいりませんよ」とお伝えすると、感謝の言葉をまるでシャワーのように浴びせて頂きました。少し心配性の方だったため、退去時の室内最終検査まで立ち会った際に「出会えて良かった」と仰って頂いたことは今でも忘れません。

ポータルハートサービス事業部 篠田リダー

お客様紹介

ファイル1

食彩 街の灯

周南市徳山駅周辺の「食彩 街の灯」さん！是非皆さんに一度食べに行って頂きたいお店を紹介致します。中国特産でグリストラップ清掃を、吉本興業ではゴミの回収をさせて頂いていますよ。今日はお勧めをしてくれた内山部長と金曜日にレポートに行っていました。街の灯さんは刺身が美味しい！いつも行く度に頂いていますが、今日はスタッフさんのお奨め料理を頂いてきました。お酒はオーナーさんがこだわって仕入れた日本酒と焼酎があります。

1品目は「和牛の炙り 880円」、お肉をレアでたたきの様に焼いて、わさびと一緒に食べると舌の上で溶けてしまいさっぱりと食べられます。ビールが進みます！

2品目は「たいのあら炊き 420円」甘く煮付けた鯛のアラをつつきます。お頭のあちこちの身をつついて、「ここ

が一番おいしい」とか言って食べる時間は最高ですよ。

3品目は「お好み焼き（大） 580円」ふわふわの大阪風お好み焼きが熱々の鉄板にのって提供されます。アツアツと言いながらほおぼります。こんなふわふわでおいしいお好み焼きは初めて食べたかもしれません。と食べていると、カウンターで隣に座ったお客さんが気さくに話しかけてくるし、オーナーからも「中特さん遺品整理は売れているかい？」と声をかけられます。店員さんも明るく、感じが良くサービスをして頂きながら会話が進みます。是非皆さんご家族、お友達をお誘い合わせの上ご利用ください。ひとりで行っても楽しめますよ。

DATA

住：山口県周南市飯島町 2-12
☎：0834-31-1006
営業時間：18:00～25:00
定休日：日曜日
※日曜日(祝)の場合は月曜日



和牛の炙り 880円



たいのあら炊き 420円



お好み焼き (大) 580円



エコフェス 2018 告知

主催：中特グループ

同時開催イベント / 周南 24 時間リレーマラソン

- 日付：平成 30 年 9 月 22 日 (土)
- 時間：12:00～17:00 (8:00～19:00)
- 場所：周南市緑地公園内

集客目標 ▶ 1,200 人！ (昨年同イベントでの集客 1,024 人)

周南 24 時間リレーマラソン内にて賑わいの演出及び、中特グループの持ち味を活かしてエコに親しみながら楽しんで頂く場所の提供をします。

- 出展内容：
- ① エコ工作
 - ② エコクイズラリー
 - ③ 環境の勉強コーナー
 - ④ みんなで作る環境の木：みんなで環境への思いを葉っぱ型のメッセージに書いて、寄せ書きを作成
 - ⑤ お片付け川柳募集：ただ今募集中！社員やご家族の参加もOK！
 - ⑥ フリーマーケット
 - ⑦ 子ども遊ぶブース
 - ⑧ パフォーマーエリア
 - ⑨ PHS・中特グループPRブース：日頃の生活でのお困り事の相談コーナー
 - ⑩ フードバンク：フードバンク山口さんとのタイアップでフードライブの開催 (予定)
 - ⑪ みんなのメダルプロジェクト：周南市協力出展 (予定)



スケジュールでは出勤日となっています。事前の準備も始まると思いますが、エコライフチームにご協力をお願いします。もちろん当日の運営もよろしくお願いします！

新しく入社した皆さん



CS 営業部
管理グループ
桐畑 静香さん
「みなさんよろしく
お願いします。」



ポータルハート
サービス事業部
第二業務グループ
岩田 陽子さん
「いろいろな仕事が
できて楽しいです」



ポータルハート
サービス事業部
第二業務グループ
相本美代子さん
「きつい時もある
けど楽しいです!!」



未来開発部
管理グループ
村川 玄樹さん
「精一杯がんばる
のでよろしく願
いします!!」



ポータルハート
サービス事業部
第二業務グループ
山口 智裕さん
「がんばります!!」

近況報告



ポータルハートサービス
事業部
第一業務グループ
松村 翔さん
「子供が生まれました!」



ポータルハートサービス
事業部
第二業務グループ
上田 謙吾さん
「結婚しました」



エコ事業部
e クリーニンググループ
曾根 英昭さん
「結婚しました」

編集後記

皆様お楽しみ様です。企画広報室の上原です。この度、社内報リニューアルしました。私の仕事は中特グループを世間に広く知って頂き、ファンを増やすこと。そして、社内でのコミュニケーションを活性化させることです。

今後社内報は社員の皆さんがより沢山写って、同じ事業部、他の事業部問わず社員間、そしてそのご家族の情報共有や、会話の糸口になればと思います。新しい取り組みでは出産や結婚のご報告なども掲載していきたいと思っています。「わたし最近〇〇にハマってます!」とか「Aさんを是非社内報で取り上げてよ!」って上原に声をかけて頂ければ嬉しいです。皆さんよろしくお願致します。

企画広報室 上原

中特グループ Facebook ページに いいね!



中特グループではFacebookページを運用しています。グループの最新情報などがアップされます。皆さんのご家族や友人・知人に紹介して「いいね」を増やそう!

<https://www.facebook.com/1404516579862103/>

